

2019 年度第 2 回教育課程編成委員会議事録
 (観光科・鉄道科・テーマパーク科・エアライン科・語学集中科・デュアル科)

日 時	2020 年 2 月 21 日(金)	場 所	8 号館 3F ホテル実習室	進 行	湊	記 録	立石他
出 席 者	企業側 (9 名) 敬称略・順不同						
	学科	企業名・団体名				名前	
	観光分野	(一社) 日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会				児玉 靖生	
	観光科 鉄道科	千葉都市モノレール(株)				山口 晋司	
		(株)日本旅行				石井 光彦	
		東日観光(株)				酒井 大之	
		(株)日本旅行				只隈 修一	
	テーマパーク科	イオンモール キッズドリーム合同会社				伊藤 弘美	
	エアライン科	(一財)成田国際空港振興協会				岸田 達也	
	語学集中科	(株)日本旅行 成田空港事務所				鈴木 繁	
デュアル科	(株)エコーパートナーズ				山田 将人		
学校側 (9 名) 矢野、立石、中山、石神、茂野、湊、北原、Wedlock、栗原							
議 事 録	進行：湊が委員会を開会した。 今回の教育課程編成委員会は、観光科・鉄道科・テーマパーク科・エアライン科・語学集中科・デュアル科で開催。						
	午前中に授業見学（卒業研究プレゼンテーション）を行ったうえで、午後の全体会に入った。						
	全体会議題 「授業見学を行ったうえでの感想及び今後へのアドバイス」						
	湊より改めて今回見学していただいた授業の趣旨及び概要を説明。						
	石井氏：授業時間内で限られている中で研究資料を作成していると思うが、全体として熱心に取り組んでいたのが分かる内容だった。 プレゼンテーションにおいては、ポイントを掴んでいる人とそうでない人の差が出ていた。 また、こういった発表においては是非自分の意見を表現してほしいと感じた。						
	児玉氏：どの業界、どの企業に入ったとしてもこういったプレゼンテーションをする機会があると思うので、学生にとって必要な機会だと思うし、経験することで勉強になると思う。また、仕事とリンクする要素として、こういった発表する機会や資料を作成することを楽しめるかが重要となってくる。いかに自分で「楽しみながら」仕事をするか、は入社してからも必要な要素だと思う。						
	山口氏：鉄道科学生の発表はマニアックな内容ではあったが、うまくまとめて上手に表現できていたように感じた。 今後はテーマの選定や、内容では「現状の課題」等も盛り込まれていると尚良いと思う。						
	山田氏：「好きなことであれば話せる」というのが顕著であった。仕事もそうであるが「好き」であることと「楽しむ」ことは大事である。こういったプレゼンテーションは表現が大事で、動きを付けて発表していた学生もいて良かったが、もっと多くの学生が自分からパフォーマンスをしていくことを期待したい。						
	湊：最近そういった学生が非常に少なくなっていると思う。今後の課題である。						
	岸本氏：忙しい中で学生が一生懸命に作成したというのが分かった。また、自分の好きなテーマで選ぶとプレゼンテーションもしっかり話せることも分かった。だからこそテーマ選びの重要性を感じた。漠然と決めてしまうと当たり障りのないプレゼンテーションになると思う。						
湊：テーマ選びの重要性はその通りだと思う。自分の興味あるテーマを自分で探してくる学生が少ないので、次年度についてはテーマ選びについての学生への伝え方を検討したい。							
鈴木氏：プレゼンテーションを 10 分でまとめるのは非常に難しい。限られている時間の中で何を言葉に							

するのか、何を伝えるかを選ぶ練習は社会に出ても様々な場面で必要になってくると思う。そういった中で今回のプレゼンテーションで、発表する状況を考え、見え方や伝えやすさを工夫するともっと良いと思う。

湊 : どうしても授業内で行う場合には、レポートを提出することが先になってしまい、今回のような発表についての指導が少なくなってしまう。今後はプレゼンテーションで何を伝えるのかを考えながらパワーポイントを作成するよう指導したい。

只隈氏 : 学生として考えたときに、パワーポイント作成や発表のクオリティが高いと感じた。あとは自分で課題を見つけて、その課題を解決するよう頑張ってもらいたい。

伊藤氏 : 今回発表したテーマパークの学生は入学後に1年生前期の授業で接しており、そこから考えると今回のプレゼンテーションでは別人のような成長を感じられた。プレゼンテーションではパワーポイントを意識しすぎているので、もっと聴講者を意識して発表できると更に良かった。

湊 : プレゼンテーション発表練習については次年度の課題にしたい。

酒井氏 : 代表に選ばれた学生だけあって素晴らしかった。次年度はゼミ内での選考も聞いてみたい。限られた時間内で想いを伝えるのは大変だと思うが、時間とのバランスが大事になってくる。

湊 : 業界の皆様から様々な意見を頂くことが出来た。今回頂いた意見を基に次年度は相手に伝えるためのプレゼンテーションの指導にも力を入れたい。

1. テーマ選択 (興味のあるテーマを自分で考えること)
 2. プレゼンテーション (相手を意識して準備や発表を行う。)
- この2点を次年度の課題として進めていきたい。

[分科会] 観光科・鉄道科
進行 : 矢野が分科会を開会。

1. 最新の業界情報

只隈氏 : 南房総市は3月まで教育旅行を中止する旨を市として通達した。その他の市町村は現在の所、正式な通達はないが今後はわからない。旅行のキャンセルは増加している。

酒井氏 : 教育旅行全体としては、今の所は大きな影響は受けていない。ただし、これから修学旅行などのシーズンになっていくので終息に向かわないと心配である。

児玉氏 : 中国人が減っているのは確かだが、それでも中国人が1番多い。千葉は複数国のオリンピックの事前キャンプ地となっているのでそこが今後心配。会社としては、中国の事務所は在宅勤務になっているが、想像以上に中国国内は悲惨な状況との事。

山口氏 : 国から、駅員・運転士はマスク着用をしようと、伝達があった。今後心配なのは運転士の確保。国からは何があっても対応できるよう運転士免許を持った非現業の職員も対応できるように訓練を積むよう指示があった。客足は今の所変わらず。マスクの着用率は増加している。会社としては、家族がインフルエンザに感染した場合は社員も休暇を命じている。

石井氏 : 会社所属の添乗員がダイヤモンド・プリンセス号に2名乗船中。連絡は取れているが、乗客が下船しないと下船できないとの事。添乗は3・4月分で売り上げ40%ダウン。SARSのときは60%ダウンだったので、会社としてはそこまで落ちることを見越して対策を講じる予定。今後は、口コミによる風評被害が怖い。

2. 2019年度就職状況→就職担当立石より継続報告

- (1) J2は全員進路決定。(専門アルバイト1名→中途採用を目指す)
- (2) アルピコ交通は学校初の内定を頂いた。長野での事前体験ツアーを実施して頂き、学生の気持ちが固まったようだ。
- (3) 観光科の学生が少ないため、企業から頂く求人に対してご紹介できる学生を出せなかった。学生数に関しては、学校として今後の課題である。
- (4) 鉄道業界の就職は基礎学力が必要。JR四国、富山地方鉄道、三陸鉄道、横浜市営地下鉄などから求人アプローチがあるがこちらも送り出せる学生が少ないのが現状。
- (5) 夏前にはほとんどの学生が内定。学校として今後は行事を含め、時期の再考が必要だと感じる。

3. 2019年教育課程編成委員会振り返り

・「観光イベントプランニング」の取入れについて

実現に向けての交渉などもなく、想像の話しでしか提案ができなかった。次回以降の構想として主催者側（例、農家など）と直接内容の交渉を上げたが、現在オニオン新聞社を通じて話合中

・「ニュースディスカッション」

人間力として「ニュースディスカッション」を後期授業から導入。学生のニュースに対しての姿勢が変わり、話題など話し合えるようになったと感じる。今後も継続予定

・「ホスピタリティ」 どの仕事につくにも大切な部分である。今後も共通科目として継続

・「ディベート入門」 お題に対して2チームに分かれてディスカッションをする。

最終的には裁判所で実際の裁判を見る授業、今回は特別に裁判官から数名の生徒が質問されたと聞いている。授業開始来初めてとの事。数名が立派に回答していたと聞いている。

・国内旅行業務取扱管理者

2019年度結果 観光科 50%（前 55%）、鉄道科 39%（前 55%）

・総合管理者 台風により 3/15 へ延期 数名が受験予定（多くて3名を想定）

4. 2020年カリキュラム

観光イベントプランニング→観光プランニングに変更

観光科に手話講座を導入

→次年度については夏の教育課程編成委員会にてお話を聞かせていただく。

5. 学生について

新1年生 観光 17名、鉄道 19名（2020/2/20 現在）

6. その他

立石：就職について、履歴書・ES がどこまでみられているのか、また面接時のポイントなどがあれば伺いたい。

只隈氏：客観的な目線で見ると人事以外の社員が面接に入るようにしている。

酒井氏：本当に当社に入りたいかを会話の中から見ている。やる気があるのが最低条件。

児玉氏：履歴書の内容はどの学生も書いてくることはほとんど同じである。内容でプラスになる部分として、強いてあげるなら英語の能力（TOEIC/英検）・これまでのリーダーとして残してきた実績位かと。インターネットの普及で当たり前のことを言う、書く学生が多い。現場の社員の人数としては足りていないのが現状。補うためには中途採用も積極的に活用。新卒の学生は中途の方との争いも今後は必要になる。

山口氏：採用方法を変える転機かもしれない。新卒主義というのが崩れてきている。7～8年目で他社に移る社員というのが多くなってきている現状もあるので。専卒に関しても今までは高卒と賃金の差はほとんどなかったが、今後は大卒に近い賃金を提示しないと来てもらえないと感じている。履歴書、ES に関しては当社は説明会参加者にのみ渡している。（WEB では出せないようにしている）直筆で書いてもらいたいという願いがある。書いた内容をみれば思いは伝わるので。

石井氏：当社は様々な職種の採用形態があるので、専門卒で直接入社するのは条件的に難しいかもしれない。会社としては、契約社員で採用し、1年後を目安に社員登用をしている。ここ2年は26名・22名と多くの方が正社員に登用されている。履歴書をみるのは1次、2次面接位までかなと感じる。人間力重視の採用をしている。

矢野：最後に、昨年の研修旅行の学生評価について。天災の影響を受け、移動は大変だったが、旅行自体の満足度は高かった。来年度は以前のように観光科は海外、鉄道科は国内となる予定だが、一定の成果は得られたと考えている。

進行矢野が分科会を閉会した。

[分科会] テーマパーク科

進行：石神が分科会を開会。

1. 2019年度教育課程編成委員会振り返り

(1) 2019年度カリキュラムに関して

カリキュラム内で input→output していく必要があり、それに対応できる編成を行っている。

またトラベル系の学科から独立したこともあり、旅行要素が多く入っていたものを数年かけて変更。現在はテーマパーク要素の強いカリキュラムとなっている。

前回の委員会では㈱東京ドーム 上村様からは新カリキュラムの『ボイストレーニング』の評価を頂いた。東京ドーム内の研修でもアナウンスの発声方法の研修は好評だったとお伺いした。

(2) 2年次成果発表に関して

2/15(土)に学生主体の第1回目の成果発表を行った。積極的で参加意欲の高い学生と冷めた学生の差が大きく。就職活動が終了した2年生は、意欲低下傾向にあるので主体性を持って取り組むことに関しては今年度成果を得られたが学生間の人間関係トラブルが多かった。

(3) 行事に関して

地域貢献行事：8/27(土)・12/7(土)小学生職業体験行事「キッズ・ハッピープロジェクト」に参加。カリキュラム内で子供と話す機会があることに関しても出席いただいた上村様に納得して頂いた。

2. 2020年度 カリキュラム案

(1) カリキュラムに関して説明

① 新規導入科目

電話対応ベーシック及びカラーコーディネートの説明

② 一部変更

イベントプロモーション：常勤職員からボイストレーニング等を担当する講師の職員が担当。舞台や音楽・表現ができる職員に一任する。

③ キッズハッピー及び成果発表の内容を報告する。

(2) 現在のテーマパーク業界に関して(伊藤様)

① コロナウイルス感染拡大に伴い「マスク装着」対応となる。

② 他の室内テーマパークではサーモグラフィーカメラを導入したパークもあるとのこと。

③ お子様より異性の服を着用したいとの要望を承諾するようになる。LGBT対応の一環

(3) その他

① 当校で髪毛が色のついている学生が入学してくるが研修・実習での受け入れは可能であるかを確認する。社内に持ち帰り事案検討の上、連絡をもらう。

② カンドゥーテーマパーク見学会3月26日(木)

③ 1年生カンドゥー研修5月11日・18日・25日

進行石神が分科会を開会した。

[分科会] エアライン科・語学集中科・デュアル科

進行：湊が分科会を開会。

1. 2019年度就職状況

エアライン科：38名中38名内定 内定率100% (2/21現在)

(内1名 進学、専門アルバイト 2名)

*グランドスタッフ内定者が多い

*内定地区：成田地区 9割、その他(羽田・関西)1割

語学集中科：16名中16名内定 内定率100% (2/21現在)

エアライン系：11名 その他飲食・旅行系：5名

2. 2020年度各科入学生

エアライン科 キャビンアテンダントコース 4名

エアポートサービスコース 26名

エアポートカーゴコース 10名

エアライン科合計：40名予定

語学集中科 12名

3. 卒業研究 各ゼミ発表内容

○湊ゼミ：日本・アメリカ・フィリピン行事の過ごし方の違い

○北原ゼミ：成田空港にある免税店3社の違い

- 葉原ゼミ：TPP について
- Ryhs&Robert ゼミ：ONE DIRECTION (アーティスト)

【企業からの感想・アイデア】

- 山田氏：日本の LCC 企業のこだわり、成田と羽田の徹底比較
興味を持って調査した方とそうでない方の差が大きい。
- 岸本氏：LCC バスとリムジンバスの比較
どんなテーマでも比較をさせると面白いかも。
- 鈴木氏：時期・文化・風俗による各国との比較
学生ならではの視点で面白かった。
- 湊：作成に注視しすぎて、プレゼン方法、今後の自分にどう活かせるかまでは指導が行き届いて
いなかった。テーマ選定の際、漠然としたテーマではなく、自身が目標としている業界や
その他興味を持って調査が出来るテーマを選ばせる事が今後の課題。

4. 各業界状況

【コロナウィルスによる状況】

- 山田氏：マスク着用、自社作除菌スプレーを従業員へ配布し、予防を促している。
- 岸本氏：NAA からマスク着用の通達が入り、実施中。
- 鈴木氏：添乗員・空港カウンター業務の方々へのマスク着用を必須としている。
マスクをしていないと入国できない等、最新情報の周知や旅客に対する渡航履歴アンケート
を実施しており、業務量が増加している。
- 全者：現在、入国者に対する検温やアンケートは行っているが、出国者に対しては特別な対応は
行っておらず、自社内で感染者が出た際の対応・ガイドラインなども不透明である為、今後
国内感染者が増加した場合、どのような対応になっていくか不安。

【成田空港離発着時間変更による影響】

- 全者：勤務時間が比例して伸びており、京成・JR・バス共に運行時間が延長されているが、
時間の融通が利かず不便。

5. 2020 年度履修科目について

【変更・追加箇所】

1. 授業名：『Japanese Culture』 ⇒ 『外客接遇』へ変更。
2. エアポートサービスコース ⇒ 2 年生後期よりエアカーゴ入門の授業実施。

6. その他

- 全者：前述のコロナの影響が甚大で、旅客・貨物共に大幅減少。
終息時期が不明であることから、2021 年度の採用については企業・業種によっては大幅
に減少する可能性がある。

進行湊が分科会を閉会した。